



## くれよん にじ組 1月



あけましておめでとうございます 🍀 今年一年も、みんなが元気に楽しく過ごせますように！

保育園生活もあと残り3カ月となりました。子ども達は「小学校楽しみ♪」「ランドセル届いたんだ！」と、小学校へ行くことを楽しみにしているようです。

12月の子ども会では、「さすが年長さん」と言われるような演技を披露し、達成感や満足感の中一年を終えた子ども達。

残りの保育園生活も、全力で楽しんでいきたいと思います！

応援ありがとうございました！

保育参観や面談を通じて、保育園でのお子さんの様子を実際に見ていただき、面談でゆっくりお話しを伺うことができ、今後ご家庭と保育園とで同じ方向を向いてお子さんを見守っていくための良い機会となりました。

保護者の方とお話しする中で、「最近反抗期みたいな態度で…」 「最近全然話してくれなくなって」など、今までと違った姿が見られるようになってきているという声が多く聞かれました。

なので今回は「中間反抗期」についてお伝えしたいと思います。

「中間反抗期」は第一次反抗期（2～3歳頃のいわゆるイヤイヤ期）と、第二次反抗期（思春期）との間に訪れるものと言われています。

口答えをしたり、反抗的な態度を取る、癪癪が増える、注意しても聞かない、などの姿が特徴的です。

最近イライラしているのかな？なんか情緒不安定？とお子さんの変化に戸惑う保護者の方もいらっしゃるかと思います。

しかし、これらの姿は自我の芽生えからくるもので、自分で考えて行動したい、という気持ちから親の干渉や手助けを嫌がったり、自分の意思を貫こうとすることで反抗的な態度が表われやすくなります。

お試し行動や八つ当たりなど、親からするとイライラさせられる行動もあるかもしれませんが、これは親に対して「自分は愛されている」という絶対的な安心感があるからこそその姿なのです。

まだまだ親に甘えたい気持ちの一方で自分でやりたい、構ってほしくない、という気持ちが大きくなって感情のコントロールが難しい状態になってしまう…といった感じです。

反抗期の表れ方はその子それぞれですし、反抗期がある子もいればない子もいます。

今の状態が反抗期からくるものであるのか、はたまた違う理由があるのかもわかりません。

ただ、こういう時期もあるんだということを頭の片隅に置いておけば、「そういうお年頃なのね」と割り切って少し気持ちが楽になることもあるかもしれません。

大人も子どもも、同じ人間同士なのでイライラしたり落ち込んだりすることもあります。自分に合ったストレス発散方法を見つけて、笑顔をたくさん増やしていきたいですね♪

